

令和6年度ネットリサーチ「魅力ある県立高校づくり」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 高校選択時に重視することについては、「通学に便利」が36.8%、「学校の雰囲気・校風」が32.3%、「大学等への進学実績」が30.8%などとなっている。
- 県立高校に期待することについては、「大学等への進学対応」が46.1%で最も高く、「学費・諸経費の安さ」が34.7%と続く。
- 県立高校に必要なと思う学科については、「普通科」が45.8%で最も高く、「工業科」が16.0%、「情報科」が15.0%、「商業科」が13.9%などとなっている。
- 高校教育に重要となるものについては、「進学指導（大学受験対策、少人数授業、個別指導など）の充実」が34.5%で最も高く、「就職指導（職業教育、キャリア教育、資格取得など）の充実」が22.1%、「教員の資質向上」が21.6%などとなっている。

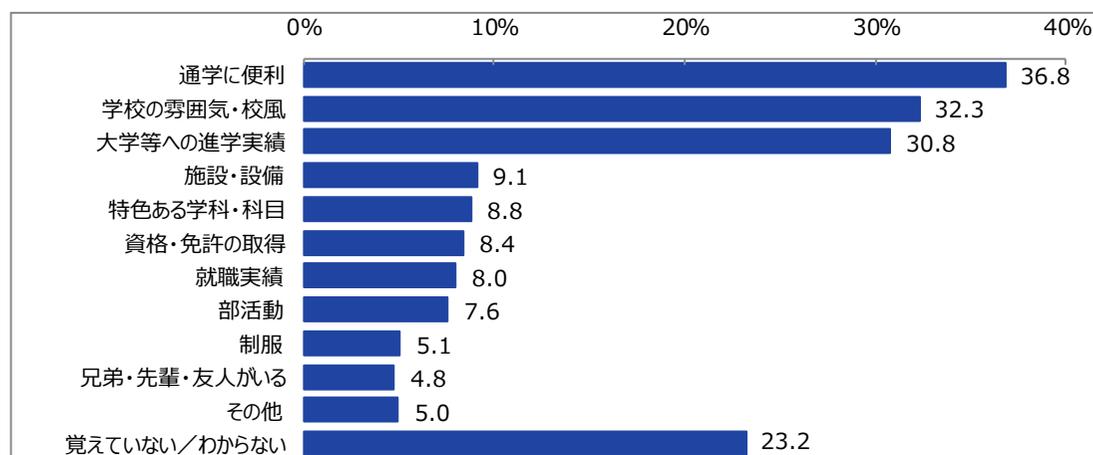
■調査結果の概要

1 高校選択時に重視すること

☆ 「通学に便利」が36.8%、「学校の雰囲気・校風」が32.3%、「大学等への進学実績」が30.8%などとなっている。

Q1.あなたが高校を選んだとき、どのような点を重視しましたか。お子さんがいらっしゃる場合は、お子さんの高校進学時にどのような点を重視するかお答えいただいても問題ございません。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
通学に便利	36.8	368
学校の雰囲気・校風	32.3	323
大学等への進学実績	30.8	308
施設・設備	9.1	91
特色ある学科・科目	8.8	88
資格・免許の取得	8.4	84
就職実績	8.0	80
部活動	7.6	76
制服	5.1	51
兄弟・先輩・友人がいる	4.8	48
その他	5.0	50
覚えていない／わからない	23.2	232

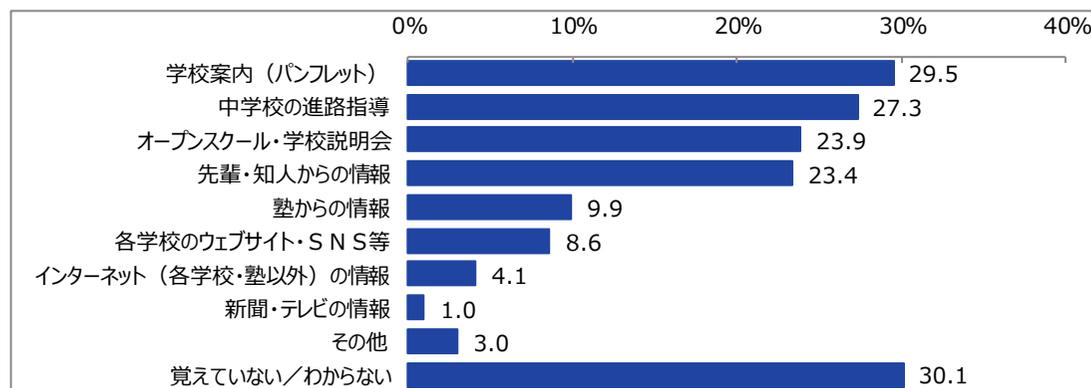


2 高校選択時に参考にしたもの

◇ 「学校案内（パンフレット）」が29.5%、「中学校の進路指導」が27.3%、「オープンスクール・学校説明会」が23.9%などとなっている。

Q2.あなたが高校を選んだとき、参考にしたものはなんですか。お子さんがいらっしゃる場合、お子さんの高校進学時に参考にするものをお答えいただいても問題ございません。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
学校案内（パンフレット）	29.5	295
中学校の進路指導	27.3	273
オープンスクール・学校説明会	23.9	239
先輩・知人からの情報	23.4	234
塾からの情報	9.9	99
各学校のウェブサイト・SNS等	8.6	86
インターネット（各学校・塾以外）の情報	4.1	41
新聞・テレビの情報	1.0	10
その他	3.0	30
覚えていない／わからない	30.1	301

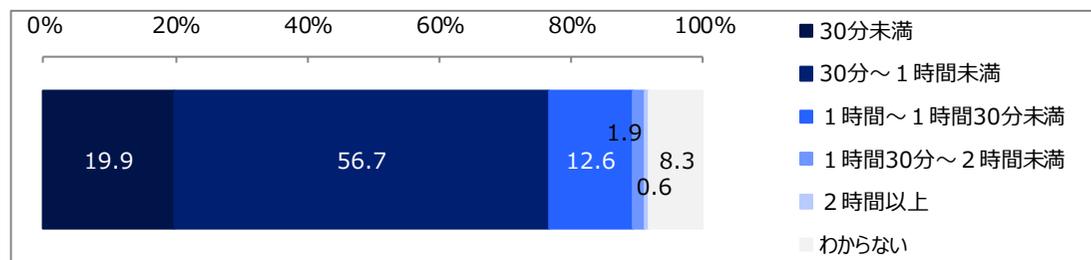


3 可能だと思う片道の通学時間

◇ 「30分～1時間未満」が56.7%で最も高く、「30分未満」が19.9%と続く。

Q3.高校に通学する場合、片道どれくらいの時間までなら通学可能だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
30分未満	19.9	199
30分～1時間未満	56.7	567
1時間～1時間30分未満	12.6	126
1時間30分～2時間未満	1.9	19
2時間以上	0.6	6
わからない	8.3	83

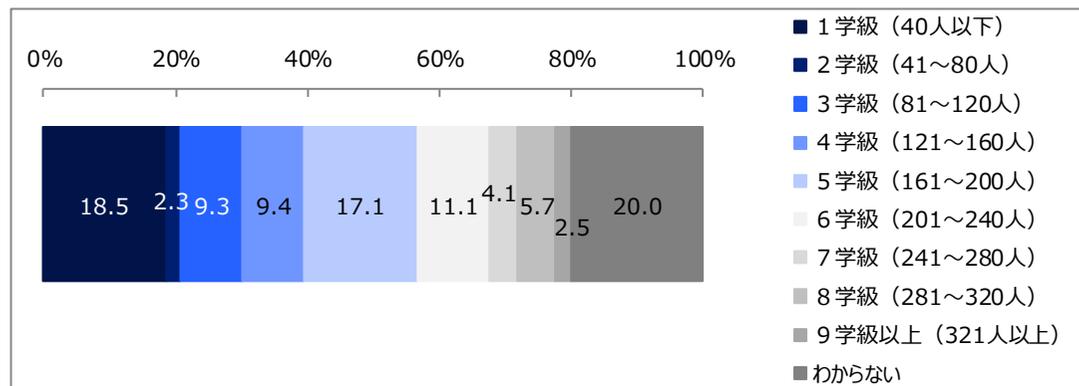


4 適切だと思う学級数

◇ 「1学級（40人以下）」が18.5%、「5学級（161～200人）」が17.1%、「6学級（201～240人）」が11.1%などとなっている。

Q4. 県立高校に進学した場合、どれくらいの規模の学級が適切だと思いますか。1学年あたりの学級数について、あてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
1学級（40人以下）	18.5	185
2学級（41～80人）	2.3	23
3学級（81～120人）	9.3	93
4学級（121～160人）	9.4	94
5学級（161～200人）	17.1	171
6学級（201～240人）	11.1	111
7学級（241～280人）	4.1	41
8学級（281～320人）	5.7	57
9学級以上（321人以上）	2.5	25
わからない	20.0	200



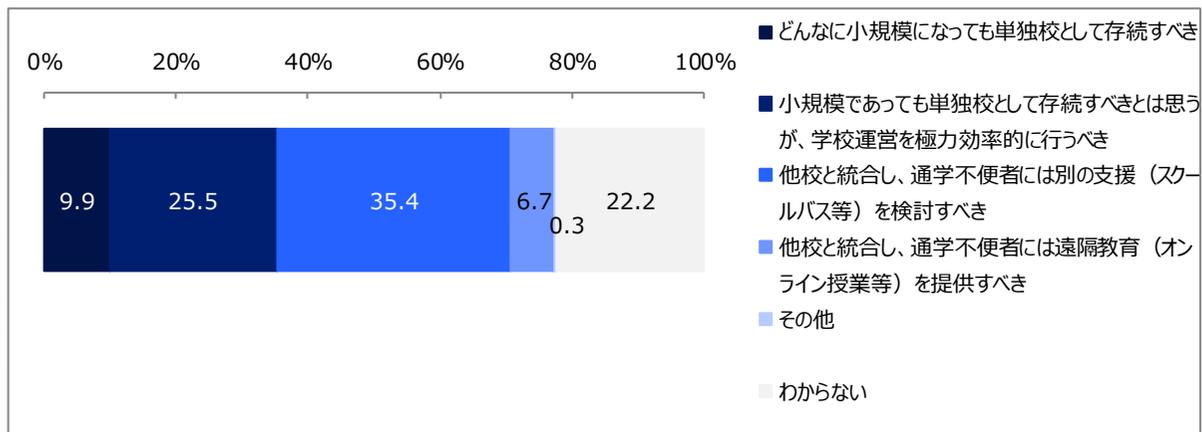
5 少子化の影響が大きい地域における県立高校のあり方

◇ 「他校と統合し、通学不便者には別の支援（スクールバス等）を検討すべき」が35.4%で最も高く、「小規模であっても単独校として存続すべきとは思いますが、学校運営を極力効率的に行うべき」が25.5%と続く。

生徒数が少なくなり学校が小規模化すると、学習活動や課外活動が縮小し、学校全体の活力が失われるという指摘があります。一方で、統廃合により地域に高校がなくなると、遠方の高校への通学を強いられる場合があります。

Q5. 上記をふまえて、少子化の影響が大きい地域における県立高校のあり方について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
どんなに小規模になっても単独校として存続すべき	9.9	99
小規模であっても単独校として存続すべきとは思いますが、学校運営を極力効率的に行うべき	25.5	255
他校と統合し、通学不便者には別の支援（スクールバス等）を検討すべき	35.4	354
他校と統合し、通学不便者には遠隔教育（オンライン授業等）を提供すべき	6.7	67
その他	0.3	3
わからない	22.2	222

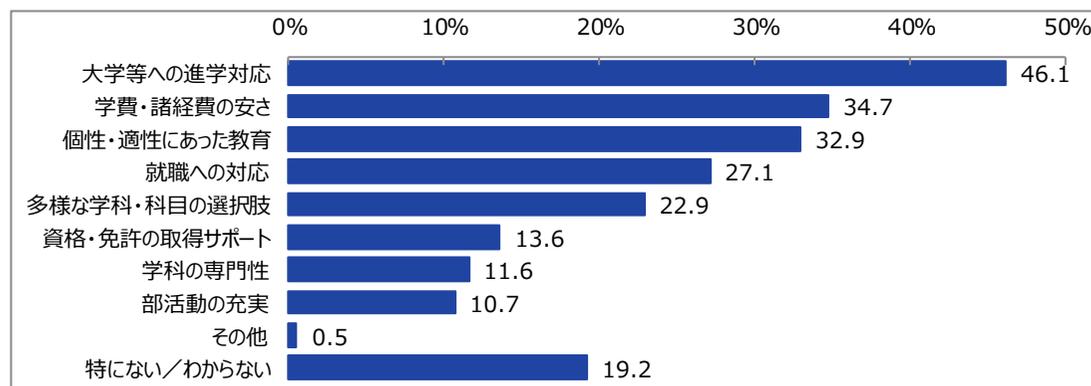


6 県立高校に期待すること

◇ 「大学等への進学対応」が46.1%で最も高く、「学費・諸経費の安さ」が34.7%と続く。

Q6.あなたが県立高校に期待することは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
大学等への進学対応	46.1	461
学費・諸経費の安さ	34.7	347
個性・適性にあった教育	32.9	329
就職への対応	27.1	271
多様な学科・科目の選択肢	22.9	229
資格・免許の取得サポート	13.6	136
学科の専門性	11.6	116
部活動の充実	10.7	107
その他	0.5	5
特にない／わからない	19.2	192

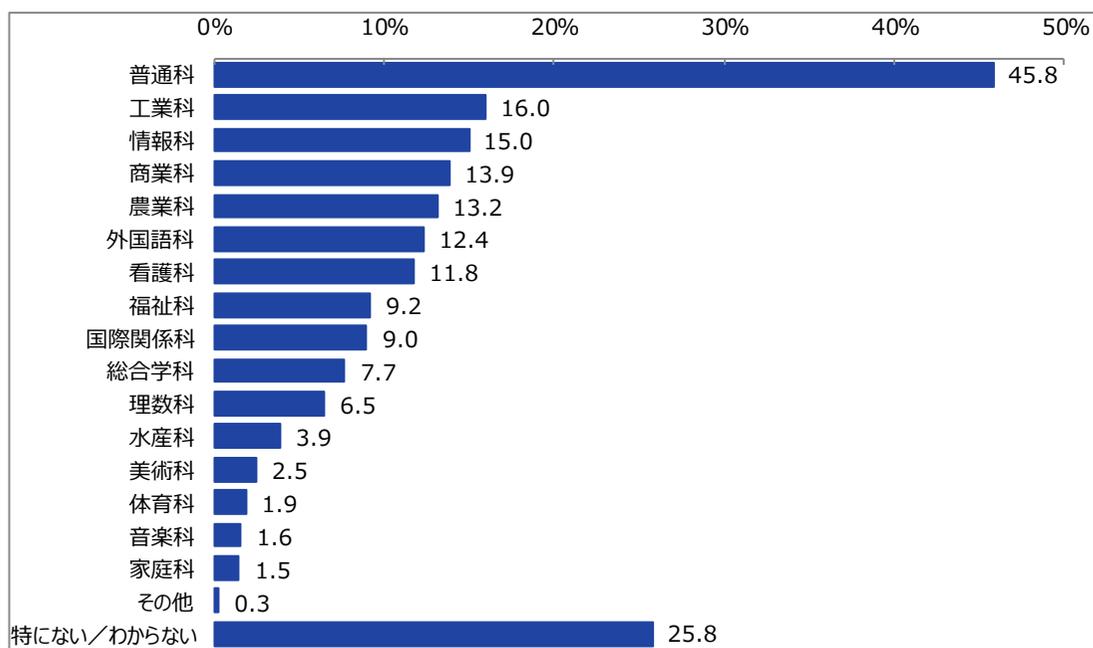


7 県立高校に必要なだと思う学科

◇ 「普通科」が45.8%で最も高く、「工業科」が16.0%、「情報科」が15.0%、「商業科」が13.9%などとなっている。

Q7.あなたが茨城県の県立高校に必要な(又は増やしてほしい)と思う学科はありますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
普通科	45.8	458
工業科	16.0	160
情報科	15.0	150
商業科	13.9	139
農業科	13.2	132
外国語科	12.4	124
看護科	11.8	118
福祉科	9.2	92
国際関係科	9.0	90
総合学科	7.7	77
理数科	6.5	65
水産科	3.9	39
美術科	2.5	25
体育科	1.9	19
音楽科	1.6	16
家庭科	1.5	15
その他	0.3	3
特にない／わからない	25.8	258

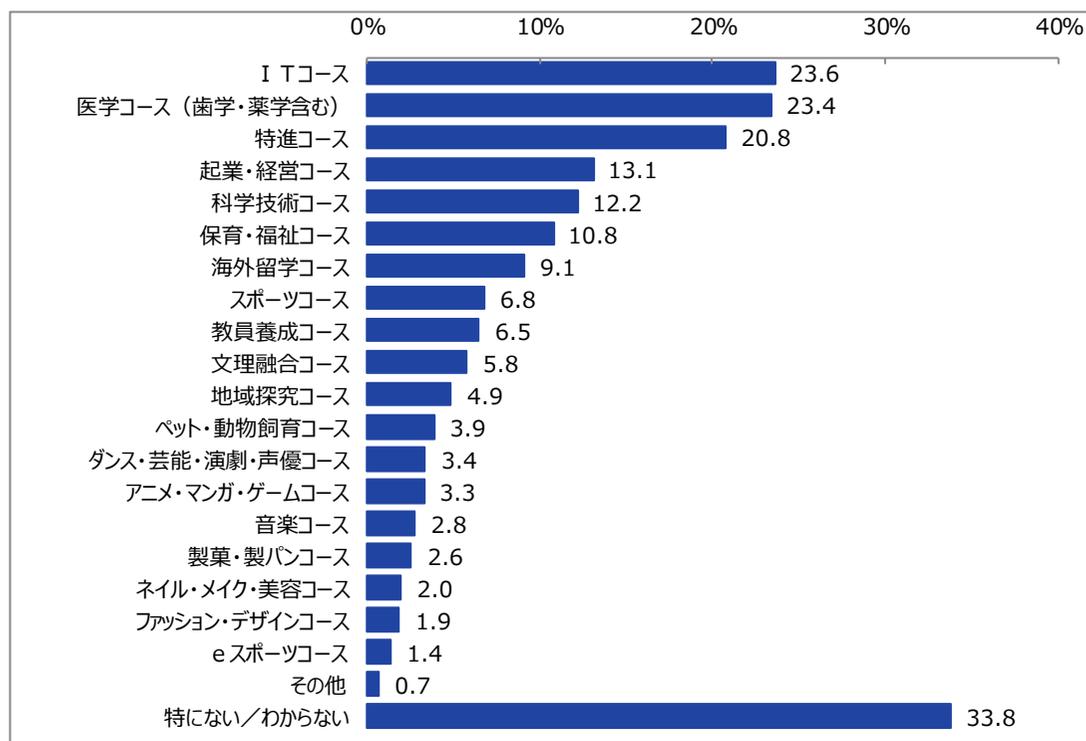


8 県立高校にあったらいいと思うコース

◇ 「ITコース」が23.6%、「医学コース（歯学・薬学含む）」が23.4%、「特進コース」が20.8%、「起業・経営コース」が13.1%などとなっている。

Q8.あなたが茨城県の県立高校にあったら良い（又は増やしてほしい）と思う新たなコースはありますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
ITコース	23.6	236
医学コース（歯学・薬学含む）	23.4	234
特進コース	20.8	208
起業・経営コース	13.1	131
科学技術コース	12.2	122
保育・福祉コース	10.8	108
海外留学コース	9.1	91
スポーツコース	6.8	68
教員養成コース	6.5	65
文理融合コース	5.8	58
地域探究コース	4.9	49
ペット・動物飼育コース	3.9	39
ダンス・芸能・演劇・声優コース	3.4	34
アニメ・マンガ・ゲームコース	3.3	33
音楽コース	2.8	28
製菓・製パンコース	2.6	26
ネイル・メイク・美容コース	2.0	20
ファッション・デザインコース	1.9	19
eスポーツコース	1.4	14
その他	0.7	7
特になし／わからない	33.8	338

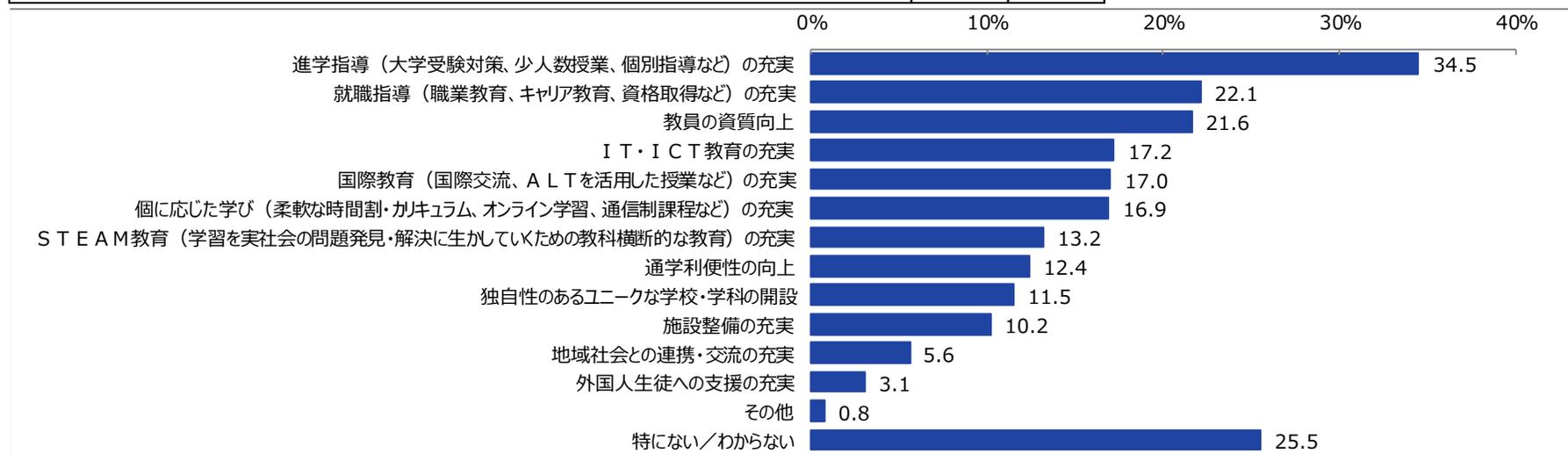


9 高校教育に重要となるもの

- ◇ 「進学指導（大学受験対策、少人数授業、個別指導など）の充実」が34.5%で最も高く、「就職指導（職業教育、キャリア教育、資格取得など）の充実」が22.1%、「教員の資質向上」が21.6%などとなっている。

Q9.少子化の加速、価値観・生き方が多様化する時代の中で、高校教育をより充実させていくために特に重要となるものは何だと思いませんか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
進学指導（大学受験対策、少人数授業、個別指導など）の充実	34.5	345
就職指導（職業教育、キャリア教育、資格取得など）の充実	22.1	221
教員の資質向上	21.6	216
I T ・ I C T教育の充実	17.2	172
国際教育（国際交流、A L Tを活用した授業など）の充実	17.0	170
個に応じた学び（柔軟な時間割・カリキュラム、オンライン学習、通信制課程など）の充実	16.9	169
S T E A M教育（学習を実社会の問題発見・解決に生かしていくための教科横断的な教育）の充実	13.2	132
通学利便性の向上	12.4	124
独自性のあるユニークな学校・学科の開設	11.5	115
施設整備の充実	10.2	102
地域社会との連携・交流の充実	5.6	56
外国人生徒への支援の充実	3.1	31
その他	0.8	8
特にない／わからない	25.5	255



■調査の目的

活力と魅力ある県立高校づくりに関する県民の意識等について調査し、今後の中学校卒業生数の減少に対する施策の検討に向けた参考資料とするため。

■実施概要

・実施期間：令和6年12月13日～12月22日

・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和6年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		110	246	93	362	189	1,000
性別	男性	57	126	50	187	99	518
	女性	53	120	43	175	90	482
年代別	18～29歳	17	41	16	70	33	177
	30歳代	16	42	16	61	30	165
	40歳代	21	54	20	81	41	217
	50歳代	28	59	21	83	44	235
	60歳代	28	50	20	67	41	206

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
4. 男性18～29歳の回収件数は、「県南」、「県西」及び「鹿行」の地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で「県南」2サンプル及び「県西」「鹿行」3サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。